平塚教会に隣接する園舎

キリスト教に根差した教育実践

平塚二葉幼稚園

平塚教会附属「平塚二葉幼稚園」は、創立者である比企キヨの開園の精神を今に引き継ぐ、キリスト教精神に基づいた歴史ある私立幼稚園だ。宗教に基づくというと、ともすれば誤認を招きかねないこともある。しかし、同園が目指しているのは「子どものたしかな成長」に他ならない。

新約聖書の一節に『わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です』とある。同園の教師たちはその言葉通り、日々園児たちに対し、たゆまず種をまき、水を注ぐ保育を行っている。一人ひとりの個性を尊重する教育を実践するのが同園と言える。

元気よく餅をつく子供たち

CSフェスティバル 快晴のもと盛況に

平塚教会学校

幼児から高校生までおよそ50人が在籍する平塚教会学校（CS）で2月25日、「CSフェスティバル」が開かれた。教会と地域の交流などを目的に毎年開催され、今年も天候に恵まれ多くの人たちでにぎわった。

毎年テーマを変えて実施されるこの催し。今年は餅つきが行われ、子どもたちが順番に杵を元気よく振りかざした。その後、参加者たちは出来たての餅をきな粉やあんこと和えて味わった。

教会学校の先生や平塚教会の会員たちは「新たな100年にむけ、より地域に開かれた教会を目指すなか、多くの方にお集まりいただき感謝いたします」と晴れやかだった。

平塚教会

次の100年「より開かれた場に」

北川一明牧師にインタビュー

日本プロテスタントの最大教派・日本キリスト教団の平塚教会（北川一明牧師／見附町）がおととし100周年を迎えた。平塚教会の隣にある教会附属の平塚二葉幼稚園も2024年に創立100年の節目を迎える。本紙では教会の牧師で幼稚園の理事長でもある北川一明さんにインタビュー、教会と幼稚園の歩みや次の100年にむけた抱負などを聞いた。

地域媒体通じ「適切な情報発信を」

平塚教会はプロテスタントの教会として1916年3月に誕生。会員数35人での船出だった。北川さんが牧師としてやって来たのは、2017年4月のこと。実は2年間にわたり平塚教会は牧師不在が続いていた。もともと明治学院で牧師を務めていた北川さんだったが、教会から招へいされ平塚の地を踏んだ。現在は、教会に隣接する牧師館で暮らしている。

牧師不在の2年間も教会員が礼拝を欠かさず信仰を維持していた平塚教会。北川さんは「教会員がしっかりしているのに、平塚教会ではどんなことが行われているのかについて地域の方々にしっかり理解されているとは言い難い状況が心苦しくありました」と当時を振り返る。

そうしたこともあり、北川さんはインターネットや地域媒体を積極的に活用していくという。「本来教会は万人に開かれた場所のはずです。それなのに敷居が高いと思われがちでした。それだけに教会という場所を正しく理解していただく必要があります。情報技術が向上した現代だからこそ、教会からの情報発信についても慎重になり過ぎず適切に取り組んでいきたいと思います」

園児とふれあう北川牧師
（平塚二葉幼稚園で6日撮影）

平塚二葉幼稚園も6年後に節目

平塚二葉幼稚園は、教会婦人会の強い要望から設置にむけた働きかけを経て、1924年に県知事許可を受け誕生。園児は35人だった。現在は定員60人が在籍し、キリスト教に基づいた教育を実践している。これまでに4千人を超える卒園生を輩出し、政治家やプロサッカー選手、地元で起業している人も多い。

理事長を務める北川さんは「認定こども園に移行する園もあり、幼児教育の形態も多様化するなか、二葉幼稚園としても私たちの教育理念や特色を地域の皆様に発信し、きちんと理解していただく必要がさらに大きくなったと思います」と考える。6年後に控える100周年にむけて卒園生やその保護者との連携やOB・OG会などの組織化も視野に入れている。

インタビューの最後に、これからの抱負を聞いた。

「平塚二葉幼稚園が100周年を迎えた時、多くの市民の皆様に祝っていただけるようにしたいです。それが創立者である比企キヨさんへの恩返しでもあります。平塚教会については、伝統ある教会の宗教性を必要とする多くの方たちに利用される場にしていきたいです。誤解を生む宗教が多いなか、私たちは正しい道を前進します」

※平塚教会、平塚二葉幼稚園では4月からタウンニュースで連載を開始します。

平塚教会
平塚二葉幼稚園

決して潰えることはなかった

平塚教会史に見る世紀の歩み

1980年ごろの幼稚園（左）と教会

平塚教会は1916年に誕生した。以後、その翌年にかけて求道者が増加 とくに日曜学校の生徒増加は日本家屋、借家住まいでは処置なしの状態となり、もっと広い会堂が与えられるよう、教会員たちは熱心に祈ったという。

1918年には教会堂建設の準備がスタート。予算総額2千円に対し、364円もの献金が寄せられ、建設費のすべてを献金でまかなうことができたのは異例で、長く日本美普教会史にその記録を留めた。翌年2月、念願の新築会堂献堂式が執り行われた。

1923年の関東大震災で平塚町（当時）が全壊するなか、平塚教会も教会堂が半壊、募金による会堂修理が行われ、およそ1カ月後に竣工した。その間も礼拝は松林で維持され、信仰が途切れることはなかった。

その翌年に設立されたのが平塚二葉幼稚園。教会の婦人会では当初、現在地のすぐ近くにあった松原悟作の家を借用していたが、入園希望者が年々増え、園舎建築の機運が高まった。現在の教会堂と幼稚園の敷地は450坪、所有者の原田敬治氏より3千円で購入した。当時、半分を埋め立ててそこに75坪の園舎を建築しここに移転した。

平塚教会に隣接し現在、北川牧師が暮らす牧師館は複数回の建て替えを経て今に至る。

太平洋戦争の惨禍も教会員らの尽力を後ろ盾に教会が潰えることはなかった。終戦後、紅谷町界隈には、身売りで生計を立てざるを得ない女性たちも多かったが、女性の権利を守ろうとしたのも平塚教会であり、復興への功績は大きいものだった。

イースター礼拝

平塚教会で4月1日

平塚教会では4月1日㈰、「イースター礼拝」を行う。午前10時30分から。

イエス・キリストの復活を祝う行事で、ペンテコステ、クリスマスに並ぶキリスト教の重要な三大祭日とされる。イースターでは伝統的に卵が用いられ、卵に見立てた装飾を家庭で施したり、庭に隠した卵を探す「エッグハント」、丘の上から卵を転がす「エッグロール」などが有名だ。

当日、平塚教会では子供から大人まで皆が楽しめる企画を用意する。

参加無料。信仰にかかわらず誰でも参加できる。

問い合わせは平塚教会☎0463・32・8831。

23人が笑顔で巣立つ

平塚二葉幼稚園で卒園式

平塚教会附属平塚二葉幼稚園の卒園式が15日、平塚教会で開かれ、園児23人が北川園長から卒園証書を受け取った。

証書を受け取る園児

涙ぐむ保護者に見守られ巣立ちの日を迎えた園児たち。園長は「幼稚園での楽しい思い出を忘れてしまうくらいに楽しい日々をこれからも過ごしてください」とエールを送った。

平塚教会・平塚二葉幼稚園にまつわるエピソードを募集します

「戦後間もないころの平塚教会を覚えている」「50年前に平塚二葉幼稚園を卒園していてこんな思い出がある」「卒園生ではないけど平塚二葉幼稚園のこんな出来事を知っている」…。平塚教会と平塚二葉幼稚園では、そんな皆様のエピソードを募集しております。

卒園生でない方でも、教会員でなくても問題ございません。お寄せいただいたエピソードは、場合によってはタウンニュース上でご紹介させていただくこともございます。

【お送り先】
〒254-0032 平塚市八千代町1-23平塚Y123ビル3F
タウンニュース湘南支社「教会と幼稚園のエピソード」係

ハガキにて①氏名 ②年齢 ③住所 ④電話番号 ⑤エピソードを明記のうえ、上記までお送りください。匿名希望の場合はその旨もご記入ください。

●未就園児クラス「こひつじグループ」
毎週金曜／2歳からの未就園の親子／各期15回・4,500円
体験をなさりたい方は、10:30～12:00 事前にご予約下さい。
前期無料体験会 4/27㈮ 10:30～12:00

●親子サロン「ことりの広場」
毎週火曜／0歳～入園前のお子様と保護者対象

平塚教会附属
平塚二葉幼稚園
☎0463-31-0864
(9:30～16:00) 平塚市見附町6-18 平塚二葉幼稚園 検索
平塚二葉幼稚園は湘南ペルマーレを応援しています。

主日礼拝 毎週日曜日 10時30分～
教会学校（CS） 毎週日曜日 9時15分～
聖書研究祈祷会 毎週水曜日10時～／毎月第二水曜日19時～
婦人会 毎月第三木曜日10時～
日曜婦人会 毎月第一日曜日の礼拝後
※それぞれの内容につきましてはお気軽にお問い合わせください。また、タウンニュース紙面上でも今後ご紹介させていただく予定です。

平塚教会は、市内作業所「麦の家」「平塚二葉会」「東北教区放射能問題支援対策室いずみ」を支援しています。

日本キリスト教団
平塚教会 牧師・北川一明
☎0463-32-8831
平塚市見附町6-18 平塚教会 検索